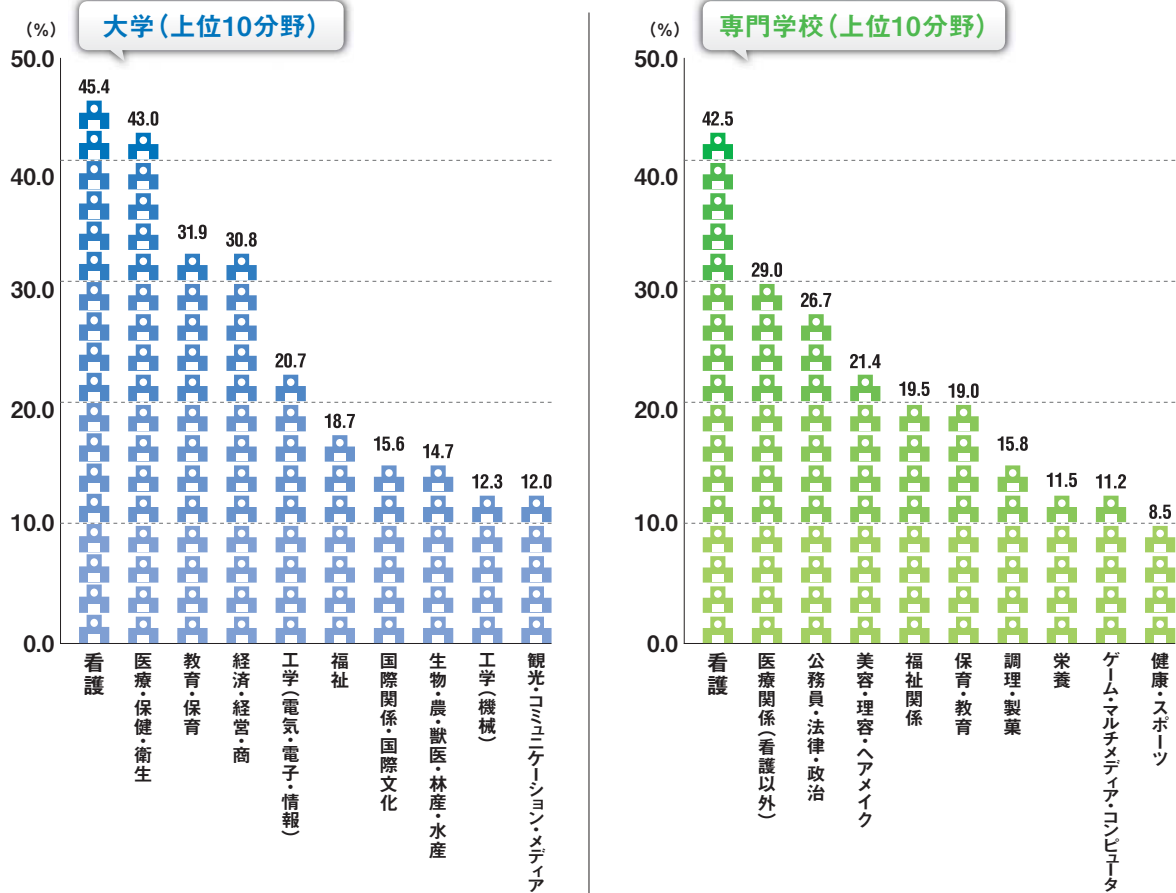


## 高校教師が予測！3年後はこんな進路希望が増える

小誌が高校の進路指導主事を対象に実施した、進路指導・キャリア教育に関する調査のなかで、3年後の各校における高校生の進路希望の変化を予測してもらいました。その一部より、進学希望が増える分野の予測について紹介します。

### ●高校教師が予測する、3年後に進学希望が増える分野（複数回答）



出典：小社「2010年 高校の進路指導・キャリア教育に関する調査」(n=1208)

安定的な職業につながる  
看護や医療の分野が伸びる？

高校教師は、自校では今後どんな分野の進路希望が増えると考えているだろうか。大学と専門学校のそれぞれを見てみよう。大学で最も多かったのが「看護」で、さらに「医療・保健・衛生」「教育・保育」といった国家資格取得を目指して学ぶ分野が上位に目立つ。一方、下位には「哲学・宗教」「音楽」「文学」「文化・地理・歴史」と教養的な分野が並んだ(11位以降★)。また、専門学校もトップは大学同様「看護」で、次が「医療関係」。警察官や消防士を含む公務員のほか、司法書士などの資格取得を目指す「公務員・法律・政治」も多い。

大学、専門学校とも、上位に共通するキーワードは「安定的な職業に直結」といえる。本調査では、就職・大学進学・短大進学・専門学校進学それぞれの進学希望率がどう変化するか、入試方法別に希望率がどう変化するかについても質問していて、これら設問のフリーコメントからも、「就職を主目的として選択する傾向」(北海道)、「大卒の就職状況が悪化していることが報道され、資格取得を優先する風潮が強い」(関西)など、資格を取って確実に職に就こうとする現在の高校生の傾向が読み取れる。

その結果と、10年間の学部系統別志願状況の変化は、ネット版にアクセスを(★)。